

(別紙 12)

大学「人材育成強化科目」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

| | |
|----------------------------------|---|
| 実習企業・機関 | 由利本庄市役所 |
| 実習期間 | 平成 31年 2月 4日 ~ 平成 31年 2月 8日 |
| 学生氏名 | 高橋 若葉 |
| 実習プログラム | 1日目 民生委員担当者会議への出席・生活保護受給者での家探しへの同行 2日目 心身障がい児集団訓練の見学・児童館業務 3日目 資料作り・介護制度等の説明・養護老人ホーム見学・ 4日目 遺族会合同研修会・心身障がい児集団訓練の見学 5日目 家庭訪問への同行・認知症カフェへの参加 |
| 学び・気づき (300字程度) | 初日に家探しに同行させていただいたとき、生活保護受給者の実態を目の当たりにしました。驚くことばかりでした。当たり前のように、靴を脱いで、素足で上がれない程のお宅を拝見するのもお邪魔させていただくのも全て、初めての体験でした。保護班の職員の方々は、いつもこのような現場を訪問していることを思うと、重苦しくて大変な仕事だと感じました。それを感じると共に、やりがいのある仕事だとも思いました。私が経験した今回のような身寄りのない生活保護受給者の方がお亡くなりになってしまった場合の訪問は、年に数回あるかないかだとお聞きし、大変貴重な経験をさせていただいたことを痛感しました。とてもありがたいことだと思っています。訪問の際にカレンダーに書き込まれていた、これからのたくさんの予定を目にしたとき、命の儚さと尊さを強く感じました。 |
| 今後に向けた 抱負 (200字程度) | 市役所ではどのような仕事をしているのだろう、わたしが将来したい仕事はなんなんだろうというもやもやした気持ちをはっきりさせたくてインターンシップに参加しました。このことを親身になって聞いてくださった職員さんの優しさに触れたこと、大変参考になるアドバイスをいただけたことで、わたしがしたいことは、生まれ育った土地をなくさないよう、秋田県に貢献することだと気づくことができました。これから多様な知識を吸収し、貢献するために具体的に何をすべきか定めることが次の目標です。 |
| インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字) | インターンシップでは、職員さんはもちろん多くの地域の方とも関わりました。本当にみなさん温かい人たちばかりでした。特に、職員の方々は、わたしが将来に迷っていることを伝えると、経験談も含んだ大変参考になるアドバイスをくださったり、迷っているからこそ様々なことを経験したほうが良いと、予定されていた実習の内容を変更してくださったりもしました。わたしが緊張していると、他愛もないお話を和ませてくれたりもしました。大変良くしていただいて、もっと秋田に住む人たちと秋田県を好きになりました。 |

| | |
|------------|--|
| 写真 (1~3 点) | |
|------------|--|